

ごみ減アイデア@石神台



発行日： 2022/02/12発行
 発行・編集者：石神台自治会及び石神台地区おおいそ廃棄物減量化等推進員 高木敏宏

捨てずに長く使うアイデアを募集しています！

おおいそ廃棄物減量化等推進員では、ごみ減活動を広報配布などでお知らせしています。石神台では、ごみを減らす身近なアイデアを回覧物で用意しました。初回は、ご家庭で実践している、誰でも取り組めるリユースのアイデアを広く募集します！ 2/28迄

■「長く使い切る」⇒ごみ減について

大磯町では毎日一人当たり784gのごみが家庭から発生しています。一年で約290kgも捨てることとなります。（令和元年度生活系ごみデータ神奈川県調べ）

家庭ごみの多くは資源再生できます。県の調査によると、県内自治体のリサイクル率はここ20年間25%程度で横ばいです。分別すれば資源と言われるものの、調査結果から分別の難しさが伺えます。

ごみは出さないことが必要！！ではないでしょうか。ごみとして出さないようにするには、一度もらったもの、買ったものは少しでも長く使い切ることが必要です。

無理せず、身近に、ごみを出さないアイデアをみんなで知って、一つでも多く実践して、ごみを出さず、少しずつでもごみ減を実現しましょう。

アイデア募集

量があって大変なのが容器包装プラです。

たとえば、レジ袋や食品トレーは買い物に一度使われたら用済みです。

二度三度使えたら、ごみが減り環境負荷を減らすことができます。

皆さんは、
 レジ袋や食品トレーを再利用していますか？
 使い途のアイデアをお寄せください。

・①②いずれかの方法で2月28日まで受け付けます

気軽にアイデアをお願いします！



①Webアンケート



<https://forms.gle/7ZhBQYmSGDPZq37C9>



②紙アンケート
 (石神台会館玄関)



石神台会館玄関



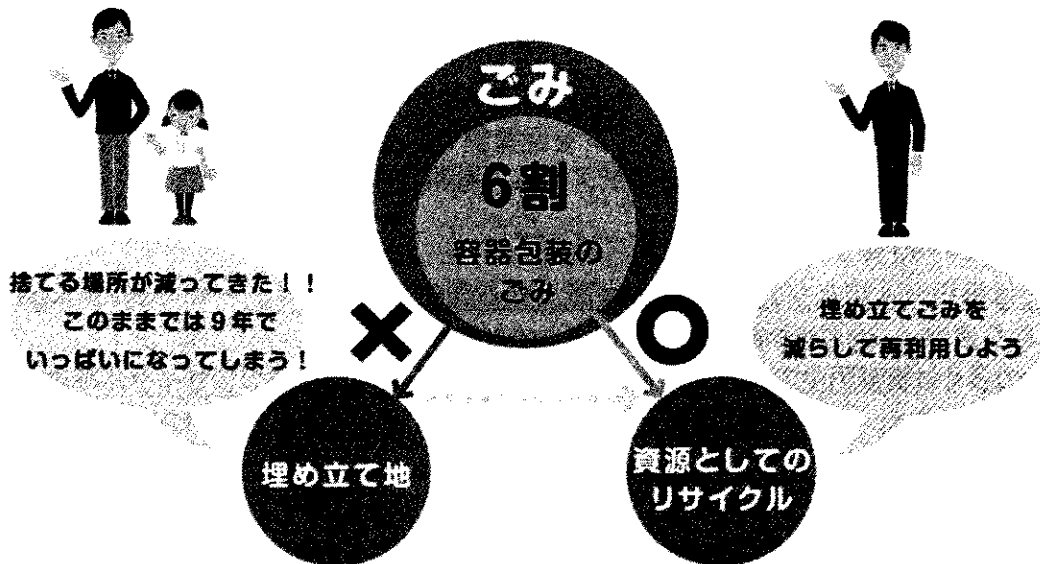
アンケート用紙に書いて
 紙バックポストに入れてください



「ごみ減」のキホン 廃棄物処理や環境問題などの情報を発信します。

■「ごみ」とレジ袋など容器包装プラスチックの環境問題について

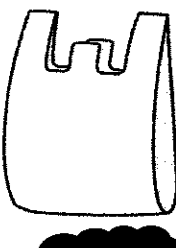

容積の大きい容器包装プラスチックは、家庭から排出されるごみの多くを占めています。分別し資源に戻すことによって、最終処分場に埋めないようにすれば、生物多様性の保全と水質汚染や海洋汚染を減らし環境負荷が減ります。



出典：日本容器包装リサイクル協会ホームページ

■マイバッグを長く使い、レジ袋も賢く使い分ける

マイバッグはレジ袋よりも手間と資源やエネルギーをたくさん使います。長く使わないと却って環境に悪影響を及ぼします。50回以上は使うとレジ袋よりも環境にいい使い方になります。レジ袋をもらう方もいるでしょう。その場合も、一回で捨てることはせず、二回三回と使い回すことによって、環境負荷を減らすことができます。

 <p>レジ袋 HDPE (高密度ポリエチレン) 100% インフレーション加工 重量3.0g</p> <p>CO₂</p> <p>15.4g</p>	 <p>マイバッグ ポリエステル100% ミシンで縫製 重量32.2g</p> <p>CO₂</p> <p>781.7g</p>	<p>マイバッグは、使用量がレジ袋より多く、縫製の手間もあり、レジ袋の50倍量の二酸化炭素を排出することが計算より明らかです。マイバッグは長く使うことによって、ようやく環境貢献に結びつきます。大切に使いましょう。</p>
--	---	--

一般社団法人 プラスチック循環利用協会(PWMI)作成パンフ「LCAを考える」より引用作成

補足

「レジ袋を貰わないようにしていますか？8割がもらわない！」

レジ袋有料化に伴い8割がレジ袋を貰わない。2割はレジ袋がそのまま使用される実態があります。

神奈川県ワンウェイプラ削減実行委員会調査 (R02年度推計)

出典

<http://plastics-smart.env.go.jp/rejibukuro-challenge/pdf/20201207-report.pdf>

レジ袋を使わない習慣が定着してきましたが、別の調査ではレジ袋をもらわない方は全体の8割に落ちています。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/cnt/f6754/wanweiseika.html>

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/68466/03-3_shiryo1-3.pdf